

(公社)富山県高等学校安全振興会

会報

第8号 (令和元年12月17日)

〈発行者〉

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

〒930-0018 富山市千歳町 1-5-1

富山県教育記念館

TEL 076-432-2810

FAX 076-432-1501



「良質な睡眠に関する講演会」
(小杉高等学校)



「保健講話」
(石動高等学校)

ご挨拶

公益社団法人 富山県高等学校安全振興会

理事長 深松 茂



令和元年6月4日の定時社員総会にて、理事長に就任いたしました深松 茂です。当会の適切で的確な運営に努めて参りますので、

今後ともよろしくお願い申し上げます。

さて、当会は富山県下の高校生および特別支援学校生が、健康で安全な学校生活を送れるようお願い、共済団体として平成4年に設立されました。学校管理下における事故・疾病にかかる医療費等の共済事業を通し、本人並びに家族の精神的・経済的負担の軽減を図り、学校における教育活動の円滑な展開に寄与することを目的としています。

昨年度の給付事業では、518件、20,364,010円の給付を実施しました。部活動中の事故や怪我が多く、件数は年々増加傾向にあります。本年度も給付事業に加え、生徒の安全・健康及び健全育成に係る助成事業と広報活動を行い、事故の未然防止に一層留意する所存です。

また、安全普及事業では、当会が加入65校に寄託しているAEDの整備を継続実施すると同時に次期更新に備えて参ります。

これからも会員の皆様と一緒に生徒たちの健全な成長に少しでも寄与できるよう、役員一同努めて参りますので、相変わらずのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度定時社員総会を開催

令和元年度定時社員総会は、令和元年6月4日に富山電気ビルディング5階大ホールにおいて、富山県高等学校PTA連合会定期総会終了後に開催されました。

山崎理事長の挨拶に続き、来賓を代表して富山県教育委員会生涯学習・文化財室の菊池政則室長より祝辞を賜りました。

総会では、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画・収支予算書について報告がありました。その後、平成30年度決算（貸借対照表・正味財産増減計算書）、共済規程改正について協議し、原案どおり承認されました。



また、本総会終了を以て理事・監事の任期が満了するため、令和元年度・2年度の理事・監事を選任しました。任期は2年間で、令和3年度に開催される定時社員総会終了を以て任期満了となります。

総会後の理事会において、代表理事（理事長）に深松 茂理事が、常務理事に神田 聡理事が選定されました。

第9回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会（北海道大会）

令和元年10月3日・4日に北海道札幌市ANAクラウンプラザホテル札幌において、第9回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会が開催されました。

本大会は、高校生等への共済事業を行っている団体相互の連携を深めるとともに、それぞれの活動の質的向上を目指して研究協議を行う大会であり、18団体、65名が参加しました。

開会行事、総会に引き続き、研究協議が行われました。研究協議では、青森県高等学校安全互助会、埼玉県高等学校安全互助会の事務局長から事例発表があり文部科学省PTA等共済指導係長 吉谷 正氏より助言そして、共済事業の概要、収支バランス、共済規程の策定や変更における留意点等についてお話しいただきました。

次に、各団体が日頃抱えている諸課題等に関する質問事項15項目について各団体が作成した資料をもとに意見交換が行われました。各項目とも活発に研究協議が行われ、充実した研究大会となりました。

次回の第10回大会は、令和2年10月1日・2日に山梨県甲府市で開催されます。

安全普及事業・助成事業について

公益社団法人富山県高等学校安全振興会は、学校管理下における生徒、児童又は幼児の事故について、必要な給付を行うことの他に、学校安全と健康の増進に関する調査研究等を行い、その普及充実を図ることも、重要な目的としています。

安全普及事業として、安全振興会ではAED65台を各校に寄託しております。「体育・スポーツに限らず、学校生活における身体活動において突然意識を失い倒れる原因の大半は、心臓疾患と考えられ、緊急時の対応が求められる。中でも不整脈による意識消失の多くが心室性頻脈性不整脈（心室頻拍・心室細動）であり、対処法としては、AEDが最も有効である。AED施行に関しては事象発見から5分以内に電気ショックのボタンを押すことが求められており、そのためにはAEDに誰もがフリーアクセスできることが必要であり、設置場所も明確であること、使用可能時間が限定されないことなどが重要である」（独立行政法人日本スポーツ振興センターが主催した岡山会場でのパネルディスカッション（平成29年）より：武者春樹 聖マリアンナ医科大学名誉教授）とされています。もしもに備えて、各学校におかれては、AEDの設置場所の周知とともに使用方法についての講習などを計画いただければ幸いです。

また、安全振興会では、安全、健康教育及び健全育成等に関する実践活動への助成も行っています。今年度は、26件の申請があり、理事会での承認を経て、助成金（上限3万円）を交付しました。例年4月の安全振興会事務担当者説明会で、手続き等について案内しております。来年度につきましても、生徒の健康教育、安全教育に係る事業の実施をお願いいたします。

【今年度のおもな助成事業】

- ・「体験教育講演会」
- ・「健全育成セミナー」
- ・「良質な睡眠に関する講演会」
- ・「心の授業」
- ・「性に関する講演会」
- ・「心の健康セミナー」
- ・「保健防災講座」
- ・「ストレスマネージメント講座」

助成事業報告

泊高等学校 ピア・サポート研修会

仲間づくりは自分づくり ～ピア・サポートで大切なこと～

泊高等学校では、安全振興会の助成事業である「安全、健康教育及び健全育成等に関する実践活動」に関わる取り組みとして、毎年1年生に「ピア・サポート活動」に関する研修会を実施している。

「ピア・サポート活動」とは、生徒が他の生徒をサポートする活動である。思いやりを行動で示せる人間を育て、思いやりのある学校風土・コミュニティを創造することを目的としている。

1 取り組み内容

12月3日(火)、長岡こども・医療・介護専門学校講師の松井理納先生をお招きし、ピア・サポートトレーニングに関する研修を行った。

前半は、パワーポイントを用いて、「ピア・サポートとは」「ピア・サポートに大切なこと」「ピア・サポーターの原則」「ピア・サポーターの役割」等について説明を受けた。

生徒は、1学期より「総合的な探究の時間」を利用し、ピア・サポートトレーニングを受けているので、この研修はピア・サポートへの理解をより深める良い機会となった。



後半には、5、6名の班に分かれて、ワークショップを行った。内容は、「新聞紙ジグソー」と「スクウィグル画」である。特に、「スクウィグル画」では、互いに言葉を発せずにコミュニケーションを図るので、生徒にとっては慣れるまでに四苦八苦していたようだ。

2 生徒の感想

- ・あまり組んだことのない人とグループ活動をしたけれど結構楽しく、協力することができた。
- ・自己受容を大切にして自分を理解し、受け入れようと思った。そして、仲間づくりもしっかりしたいと思った。
- ・友達や仲間との協力や支え合いについて深く学ぶことができました。
- ・みんなで協力して活動をし、楽しむことができました。改めて、ピア・サポートの内容について確認することができました。
- ・自己受容の大切さを学びました。自分を一番に考えていないと周りの人を良くできないとわかったので、これからは、自分のことも考えたいと思いました。



3 実施を通して

本校では、平成19年度から「ピア・サポート活動」を行ってきた。現在は1年生が、「総合的な探究の時間」を利用し、年間を通じて行っている。

今回の研修会は、その総まとめのような位置づけで、専門家の先生を講師に迎え実施した。

生徒の感想にもあるように、今回の研修を通してより友達や仲間との協力や支え合いが重要だということが理解できたと思う。また、コミュニケーションツールとしての「言葉」がいかに大切かということも、身をもって体験できたと思う。

今後の学校生活において、生徒同士が互いに他者を思いやる場面や助け合う場面を日頃から見ることができれば幸いである。

平成30年度事業・収支決算報告

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；平成30年6月5日
- 2 会議 理事会 6回開催
平成30年5月7日、6月5日（第2回・第3回）、8月3日、平成31年1月24日、3月13日
- 3 調査研究事業 第8回全国高等学校等安全互助会連絡協議会総会及び研究大会静岡大会（平成30年10月4日・5日）
PTA等共済法事務担当者会議（平成30年6月8日、平成31年2月8日）
全国高等学校等安全互助会連絡協議会研修会（平成30年11月22日）
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 AED（65台）の定期点検及びパッド・バッテリー交換（平成30年8月・9月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成に関わる実践活動への助成（22団体）
- 6 給付事業 共済金支払件数518件（負傷；516件、後遺障害；2件、義歯；0件）
- 7 香料給付事業 2件

【収支決算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,182,806	291,231	4,000,089	33,474,126
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	13,876	0	24	13,900
受入共済掛金	29,168,780	0	0	29,168,780
受入香料掛金	0	291,230	0	291,230
雑収入	150	1	4,000,065	4,000,216
投資活動	20,483,000	0	0	20,483,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	20,483,000	0	0	20,483,000
支払備金取崩	0	0	0	0
前期繰越収支差額	▲570,424	57,946	13,331,898	12,819,420
計	49,095,382	349,177	17,331,987	66,776,546

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	27,733,134	127,605	5,300,176	33,160,915
事業費	27,733,134	127,605	0	27,860,739
管理費	0	0	5,300,176	5,300,176
繰入金	0	0	0	0
投資活動	3,355,065	0	0	3,355,065
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	3,355,065	0	0	3,355,065
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
次期繰越収支差額	18,007,183	221,572	12,031,811	30,260,566
計	49,095,382	349,177	17,331,987	66,776,546

令和元年度事業・収支予算計画

《事業》

- 1 社員総会 定時総会；令和元年6月4日
- 2 会議 理事会 4回開催
令和元年5月8日、6月4日（第2回、第3回）、令和2年1月23日
- 3 調査研究事業 第9回全国高等学校安全互助会連絡協議会総会及び研究大会札幌大会への参加
（令和元年10月3日・4日）
PTA等共済法事務担当者会議等への参加
- 4 安全普及事業 (1)機器の整備 AED（65台）の定期点検（令和元年8月・9月）
(2)広報事業 安全振興会会報・手引書の発行及び加入案内の配布、ホームページの随時更新
- 5 助成事業 生徒の安全・健康及び健全育成等に関わる実践活動への助成
- 6 給付事業 共済金給付

【収支予算】 1 収入の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	28,572,950	283,850	4,000,020	32,856,820
基本財産運用収入	0	0	0	0
特定資産運用収入	30,000	0	0	30,000
受入共済掛金	28,542,750	0	0	28,542,750
受入香料掛金	0	283,850	0	283,850
雑収入	200	0	4,000,020	4,000,220
繰入金	0	0	0	0
投資活動	15,000,000	0	0	15,000,000
基本財産取崩	0	0	0	0
特定資産取崩	0	0	0	0
支払備金取崩	15,000,000	0	0	15,000,000
前期繰越収支差額	18,168,428	105,871	11,986,267	30,260,566
計	61,741,378	389,721	15,986,287	78,117,386

2 支出の部

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
事業活動	29,648,749	284,251	6,148,000	36,081,000
事業費	29,648,749	284,251	0	29,933,000
管理費	0	0	6,148,000	6,148,000
繰入金	0	0	0	0
投資活動	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産取得	0	0	0	0
特定資産取得	3,000,000	0	0	3,000,000
固定資産取得	0	0	0	0
支払備金積立	15,000,000	0	0	15,000,000
予備費	100,000	0	0	100,000
次期繰越収支差額	13,992,629	105,470	9,838,287	23,936,386
計	61,741,378	389,721	15,986,287	78,117,386

《役員》

令和元年・2年度理事・監事（令和元年8月9日～）

○理事（9名）

深松 茂（理事長） 神田 聡（常務理事）
荒木 義雄 鮎田 大起 小峰 正文 榎田 隆一郎
才高 人思 上埜 慎也 柴田 正信

○監事（2名）

青木 仁 奥野 康宏

平成30年度・令和元年度審査委員会委員（9名）

佐藤 久美 土肥 しのぶ 梨谷 真嗣 福島 英晴
金田 秀樹 品川 俊男 立浪 真美 菊池 政則
藤 縄 太郎

編集後記

初めて公益法人の業務を担当することになりました。研修会、他県の安全振興会の方々との連携、県並びに文部科学省の助言をいただきながら進めております。

子どもたちの健康・安全、健全育成に少しでも、お役に立てるよう努力して参りますので、今後ともご協力よろしくお願いいたします。

（常務理事・事務局長 神田 聡）